

集団がん検診のご案内

《乳がん・子宮頸がん・胃がん》のお知らせ

集団検診の受け方(地区での検診)

Step1 日程表を確認して、検診を受ける日を決める。



Step2 【がん検診受診シールの見方】(P.3)を確認して、保健センターへ予約する。



電話予約または予約専用フォームから予約する。

Step3 当日、必要な物を持って検診会場へ行き、検診を受ける。

予約開始は8月1日(金)から
(平日・8:30~17:00)

⇒保健センター ☎ 0274-82-5490

予約専用フォーム



持ち物	乳がん検診	子宮頸がん検診	胃バリウム検診
がん検診受診シール	○	○	○
受診料	○	○	○
無料クーポン券(対象者のみ配布)	対象者は持参する	対象者は持参する	×

乳がん・子宮頸がん・胃がん検診 日程表

〈乳がん・子宮頸がん検診〉

全日程、全地区の方が対象ですので、都合が良い日程で受診してください。

日 程	時 間	会 場	予 約
10月3日(金)	13:30~15:00	保健センター	要予約○ (15分ごと) 乳がん検診 各日約80人限定 子宮頸がん検診 各日約60人限定 ※11月4日のみ乳がん・子宮頸がん検診約40名限定
11月4日(火)	13:30~14:30	西牧防災研修施設	
11月29日(土)	13:30~15:00	保健センター	
12月7日(日)	13:00~15:00	保健センター	

※乳がん・子宮頸がん検診について(P.2~3)記載されています。予約前にご確認ください。

〈胃バリウム検診〉

全日程、全地区の方が対象ですので、都合が良い日程で受診してください。

日 程	時 間	会 場	予 約
10月3日(金)	9:00~11:00	保健センター	要予約○ (15分ごと) 特定健診等も受けられます。 詳しくは春に配布した「健診等のご案内」をご覧ください。
12月7日(日)	7:30~10:00	保健センター	

※胃バリウム検診について(P.4)記載されています。予約前にご確認ください。

※ 保健センター駐車場が満車の場合は、こんにやく体験道場駐車場をご利用ください。

■ 検診結果は約1か月半程度で自宅に郵送されます。

精密検査の必要があると結果が出ている人は必ず医療機関を受診してください。

【乳がん検診について】

乳がんは女性に一番多いがんで、40～50歳代をピークに発症や死亡が増加しており、女性の約9人に1人が生涯で乳がんにかかる危険があります。

仕事や子育て、介護など忙しい時期にかかりやすい病気です。

♥ 検査内容

問診・マンモグラフィ検査(乳房のX線撮影)

♥ 検診対象者

- ① 40歳以上で前年度未受診者の女性(令和8年3月31日現在)
- ② 無料クーポン対象者(対象者のみ配布) ※詳細は事前に配布した無料クーポンをご覧ください。

♥ 受診料

- ① 500円 (検診費用約6200円の内、自己負担500円で受診できます)
- ② 無料

♥ 服装

脱着しやすい服装が受診しやすいです。

～受診できない人～ 次の項目に該当する人は、専門の医療機関やかかりつけ医にご相談ください。

- ・6か月以内に、乳房にしこりや異常な乳頭分泌物等の自覚症状がある方。
- ・妊娠の可能性がある方。妊娠中、授乳中、出産後2年以内の方。
- ・乳房に疾患があり、医療機関で治療・経過観察中の方。
- ・10年以内に乳がんの既往がある方。(主治医に検診で可と指示された方を除く)
- ・豊胸手術後、ペースメーカー、脳室－腹腔シャント造設、前胸部静脈ポート留置している方。
- ・背骨が極度に湾曲している方。独歩不能な方。
- ・胸部外傷があり、痛み等の症状がある方。
- ・糖尿病でインスリンポンプ・持続グルコース測定器を装着中の方。(取り外せれば受診可能です)

■ 重複受診に注意しましょう。後に受けた健(検)診費用が全額自己負担になります。

各健(検)診は年度内(4月1日～翌年3月31日)に1回のみ受診することができます。

重複受診となるケース： 同じ内容の健(検)診で集団健診又は個別健診を2回以上受診した方

胃カメラ(内視鏡)検診と胃バリウム(X線)検診を重複して受診した方

国保が助成する人間ドックと町の健(検)診を重複して受診した方

【子宮頸がん検診について】

子宮頸がんは、女性なら誰でもかかる可能性のある病気です。実は、**20歳～30歳代**の若い女性に**多いがん**です。近年、39歳以下の女性で子宮頸がんの発病や死亡が増えています。

♥ 検査内容

問診・内診と子宮頸部細胞診検査

(子宮頸部や膣の表面粘膜をやわらかい樹脂製ブラシ等で細胞を採取して調べます)

♥ 検診対象者

- ① 20歳以上で前年度未受診者の女性(令和8年3月31日現在) ※一度でも性交渉経験がある方です。
- ② 無料クーポン対象者(対象者のみ事前配布) ※詳細は事前に配布した無料クーポンをご覧ください。

♥ 受診料

- ① 500円（検診費用約5700円の内、自己負担500円で受診できます）
② 無料

♥服装

スカートを着用すると受診しやすいです。

♥ 注意事項

- 1.月経と重ならないようにしてください。
- 2.少し出血する場合があるのでナプキンがあると安心です。
- 3.過去に手術を受けたなどあれば、あらかじめ主治医に確認をしてください。
- 4.膣の中は洗浄しないでください。

【がん検診受診シールの見方】

令和7年度 【がん検診受診シール】

年間通して使用します
※検診会場に必ず持参してください

下仁田 太郎 29

270-2801 保健№ 111

下仁田町大字下仁田 682番地

下仁田 太郎

令和7年度
●胃がん(バリウム)検診 検査料 500円
下仁田町 大字下仁田 682番地

受診者氏名 シモエ 太郎
下仁田 太郎

生 537.7.20 生 63 歳 男
世帯番号 9999 個人コード 999986

電話番号 82-2111

令和7年度
●胃がん(バリウム)検診 検査料 500円
下仁田町 大字下仁田 682番地

受診者氏名 シモエ 太郎
下仁田 太郎

生 537.7.20 生 63 歳 男
世帯番号 9999 個人コード 999986

電話番号 82 2111

令和7年度
♥乳がん検診

令和7年度
♥乳がん検診

令和7年度
▼子宮頸がん検診

令和7年度
▼子宮頸がん検診

全日程予約が必要です。
詳しい内容はご案内をご覧ください。
【問い合わせ先】
・保健センター→☎82-5480)
・予約専用フォーム⇒

シールに記載してある
電話番号に変更がある場
合は記入してください。

下仁田 太郎

電話：82-2111

下仁田 太郎

電話：82-2111

氏名等が記載されているので対象です。

氏名等の印字がある検診が対象となります。
氏名等の印字がない場合は対象ではない
ため、検診を受診することはできません

氏名等が記載されていないため対象ではありません。
年齢により対象ではないか、前年度か今年度検診を受けている可能性
があります。

【胃がん(胃バリウム)検診について】

胃がんで亡くなる患者さんは多く、**死亡数は男性3位、女性5位**です。また、胃がんはなりやすく、治しやすいがんでもあります。早期の胃がんは自分では気づきません。見つけれられるのは専門家だけです。

◆ 検査内容

問診・バリウム(造影剤)によるレントゲン撮影。

◆ 検診対象者

40歳以上74歳以下で前年度胃がん(胃カメラ)検診未受診者(令和8年3月31日現在)

※75歳以上で受診を希望する方はご相談ください。

※ 人間ドック等で、胃カメラ検診または胃バリウム検診を受けた(受ける予定の)方は受診できません。

◆ 受診料

① 40歳～49歳の方 無料

② 50歳以上の方 500円 (検診費用約5700円の内、自己負担500円で受診できます)

◆ 注意事項

1.検査の前日の夕食は、午後9時頃までに済ませ、食後は何も食べないでください。

2.検査の当日は、何も食わずにお出掛けください。

ただし2時間前までは、白湯・水をコップ1杯(200cc程度)飲んでも、検査に差し支えありません。

3.たばこ・薬もさけてください。ただし、高血圧・循環器等の薬を服用中の方は、医師と相談し服用してください。

4.当日、インスリン注射や血糖降下薬を服用した人は受診できませんのでご了承ください。

5.ボタン・金具等がないシャツ1枚を着用し、ブラジャー・時計・眼鏡・装飾品・貼付薬などは、あらかじめはずしてください。

6.お腹を圧迫するゴム等は、へそ下10cm位下げてください。診療台上で動いて検査するため、なるべくゆるいゴムのズボン等を着用して検査を受けてください。ベルトを外すとずり落ちるようなスラックス等は脱いでいただく場合があります。

～受診できない方～ 次の項目に該当する方は、専門の医療機関やかかりつけ医にご相談ください。

・妊娠中又は妊娠の可能性がある方。

・寝台の上で寝がえりなど指示どおりに動けない方。

・体重が130kg以上ある方、血圧が180/110mmHgある方。

・今までバリウム検査を受けてアレルギーや便秘、体調が悪くなり医療機関を受診した方。

・医師から酸素吸入を指示されている方。

・心臓病や腎臓病で水分制限をしている方。

・3か月以内に大腸ポリープの内視鏡治療をした方。

・バリウムを飲む際に気管支にバリウムが入った(誤嚥)ことがある方。

・大腸憩室炎、潰瘍性大腸炎及びクローン病と診断された方。

・手術による治療が済んでいない腸ヘルニアの既往、腹痛や血便がある方。

・3日以上排便がない方。(検診日も含む)

・糖尿病でインスリンポンプ・持続グルコース測定器を装着中の方。(取り外せれば受診可能です)

・胃腸病、心臓病、腎臓病などで治療中、または経過観察中の方は主治医へ相談してください。